



# 校報 柴山っ子

校訓「自主 敬愛 協同」  
柴山小学校・幼稚園 No.2  
令和3年5月13日

薫風の心地よい好季節となりました。風に乗ったこの気持ちのいい空気をいっぱい吸いたいところですが、まだまだマスクが外せない日常です。季節を五感で味わう日々に早くなってほしいと願うばかりです。

ゴールデンウィークも終わりました。休みの充実感は、あまり感じられることがなかったかもしれませんが、子どもたちは、心をリフレッシュさせ、元気に登校、登園しています。マスク越しで表情は、察しにくいですが、相手の目を見て「おはようございます」とあいさつをしている姿に、元気さと温かさを感じながら1日がスタートしています。これから、木々の新緑が映える頃。木々の葉のように、子どもたちもさわやかな心で成長する5月にしていきたいと思います。

・・・と言いながら、まず4月行事での子どもたちの様子を伝えます。

## ようこそ 1年生

4月28日(水)、児童会行事「1年生を迎える会」がありました。3密を避けることを意識しながらの行事でした。6年生、児童会を中心にいろいろな気配りを入れて企画をしていました。昨年は、できませんでした。毎年恒例のゲームのジャンケン列車ではなく、ジャンケン勝ち上がりゲーム。4回連続ジャンケンに勝たないと、ゴールできません。どこかで負けてしまうとスタートに戻ってしまう。盛り上がりました。6年生、ジャンケン強い！2回戦ありましたが、私は、いずれもスタート地点でタイムアップでした。くやしいー!! その他にも、「学校〇×クイズ」や「先生当てクイズ」などがありました。児童会書記の5年生2人が全体の司会を務め、6年生7名が、ゲーム・クイズごとに役割分担をして手際よく進行していました。会がスムーズに流れましたが、それまでの準備・計画が周到であったお陰です。すばらしかったです。また、全校生が、クイズやゲームで進行する6年生が話すとき、盛り上がっていたのに、その時は、さっと静かになり、話をきちんと聞きます。6年生の声をしっかりと聴いている姿勢、切り換えの速さに、とても感心しました。これも会がスムーズに流れた大きな要因でした。そして、1年生。入学式と同じように



6年生のお兄さん、お姉さんのエスコートなしで、拍手の中、堂々と入場できました。6年生のインタビュー形式で4人の1年生は、堂々と自己紹介をしていました。インタビューの最後の質問「みんなに向かって一言」と尋ねられると「かわいがってくれて、ありがとうございます。」と返す言葉が、とても微笑ましかったです。そして、6年生から縦割り班の集合写真とポーズを決めた自分の写真

が裏表に貼ってあるメダルをプレゼントされた時の満面の笑みがとても印象的でした。退場する時も一人一人堂々としていました。会が終わった後、1年生教室をのぞくと、メダルを付けてカメラにポーズをしていました。私も遠慮なく一緒にポーズをとりパチリ。役得でした。



## ノーメディアデー ～10じつの日～

本年度の新しい試みです。

子どもたちの身の回りは、インターネットやテレビ、ゲームが身近になり、便利になっています。一方で子どもたちのゲームやテレビ・動画視聴など、メディアに対する依存度が高くなりつつある点が心配です。これからの時代にメディアは欠かせないものですが、メディアにふれない一日(新聞は除いて)を設けることで、家庭学習の充実を図ったり、外へ遊びに行き友達と遊ぶ習慣がついたり、親子のふれあいを大事にしたり、読書に親しんだりするなど、自分の生活を見つめ直し、自分で組み立てた充実した一日(10じつの日)になればと思います。

子どもたちが、帰宅してからの時間の使い方について見直す日を月に1回設けていこうというチャレンジです。

毎月10日(休日祝日にあたる時は、その次の平日)に設定します(8月10日は、夏休み中であるので、除きます)。子どもたちにとって、どうでしょう?子どもによっては、かなり高いハードルかもしれません。まず第1回目は、5月10日(月)でした。終えた子どもたちの声を聞くと

- ・友達(兄弟)と遊んだり読書をしたりしました。お家の人とカードゲームをしました。
- ・時間をかけて新聞を読みました。
- ・お手伝いをしたり、ぬり絵をしたりしました。
- ・家族と話す時間が増えてうれしかったです。
- ・いつもより早く寝ました。
- ・テレビがついていたので、ちょっと見ました。

パーフェクトを望んでいるわけではありません。意識を持ってくれることが一番です。最後に、うれしい感想がありましたので紹介します。

初めてメディアからはなれてみて、ないとつらかったけど、こんな生活もできるんだと知ってうれしかったです。

1年間続けていく中で、それぞれが、自分の生活を見直し、よりよくしようと取り組んでいくことを楽しみにしています。

(文責 校長 中田 斉)